



The Japanese School of Melbourne

メルボルン日本人学校だより

平成 27 年度
夏休み号
H27.12.18

夏休み

校長 上野 祐美子

いよいよ今日で2学期が終わります。冬休みが明けてから30周年記念式典・メル校デー、運動会、交流学习、中学部は職場訪問学習など、大きな行事が続いた2学期でした。中学部ではG9の役割をG8が引き継ぐ大切な節目の時期でもありました。G8はその自覚を持ち、すでに学校を代表する基盤ができてきました。小学部の子どもたちは、私たち大人の数倍の早さで毎日様々なことを感じ、いろいろなことを吸収し、成長しています。

ご家庭でも、ぜひ2学期の生活を振り返り、成長した子どもの姿を見つけ、努力の成果をほめていただきたいと思います。2学期を終えるにあたり、保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎え下さい。

12月を振り返って

12月は約3週間でしたが、ここに紹介した以外にも、職場訪問学習発表会、進路講演会、ネットボールクラブ交流試合などがありました。さまざまな役割を担うことで責任感が育ち、子どもは着実に成長しています。

交流学习(P~G4、G5・G6)(12/1,12/3)

P~G4までは、近くの Caulfield Primary school を訪問し、G5,6は1学期に訪問した Sydenham Hill-Side Primary School が来校し交流しました。いずれも最初は緊張気味でしたが一緒に活動を重ねることで笑顔も増え、親しげに会話する様子が見られました。日頃の EAL や英語での学習を生かす有意義な時間となりました。



ストロベリーピッキング(P~G3)(12/10)

青い空、山の緑、紺碧の海、白い砂浜…。これ以上ない！と思えるような快晴かつ爽やかな陽気のもとで低学年の遠足が実施できました。G3は準備の段階からリーダーシップを発揮していました。また、G3だけでなくG2も下学年にやさしく教える姿が見られました。プレップは全員分の手作りイチゴブローチを準備してくれました。当日のバスの中のG1企画のレクも見事なものでした。各学年自分たちの役割を果たし、それぞれの心に残る遠足になりました。

卒業生を励ます会(中学部)(12/11)

G7・G8企画による「卒業生を励ます会」がありました。勉強に励むG9にほっとして楽しんでもらえるような内容でした。最後にG9一人ひとりに色紙を渡し「受験がんばって下さい！」というメッセージの入ったくす玉を割って会が終わりました。メル校のリーダーとして皆を引っ張ってってくれたG9。それぞれの夢への挑戦を応援しています。



生き方教室(12/17)

ドッグトレーナーの斉藤貴子さんを講師に招き「生き方教室」を実施しました。当日はシニアドッグトレーナーの方、介助犬2匹も一緒に来校、サービスドッグ(介助犬)のこと、ドッグトレーナーの仕事などについて子ども達に話して下さいました。「街で見かけても、介助中であることを示すコートを着用していたら、声をかけたり触ったり餌をあげたりしないでください。」「頭をなでるのは犬にとっては驚くことになるので、頭はなでないでください。」など接し方についても教えて下さいました。介助犬やドッグトレーナーについて知るよい機会となりました。



8ヶ月のマキシー(左)と3才のパディ

読み聞かせ(保護者、G6)

後期の読み聞かせでも保護者の方にご協力いただきました。ありがとうございました。また12/11には小学部最高学年のG6の5名が小学部の下学年に、図書室の本や自分が小さい頃にお気に入りだった本を読み聞かせてくれました。自分のお気に入りの本を下学年に紹介する様子に心が温まりました。きっと下級生も上級生になったら、自分の好きな本を読み聞かせてくれることでしょう。

